

気密ダンパーユニット 据付要領書 型式 : KVB-MD

◇据付作業の前に「1. 安全のために必ず守ること」をお読みにになり、正しく安全にお使いください。
 ◇必要に応じて、『スリムハイキⅡ 施工要領書』も併せてご参照ください。
 ◇この据付要領書は、据え付け後、施主様へ必ずお渡しください。

－ もくじ －





1. 安全のために必ず守ること	1
2. 各部の名称	2
3. 気密ダンパーの据付方法	2～4
4. 試運転 図面	5



※本取扱説明書の内容は、機器の改良などにより予告なしに変更する場合があります。

1. 安全のために必ず守ること(必ずお読みください)

- ご使用前に必ずこの「安全のために必ず守ること」をお読みにになり、正しくご使用ください。
- ここでは、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。

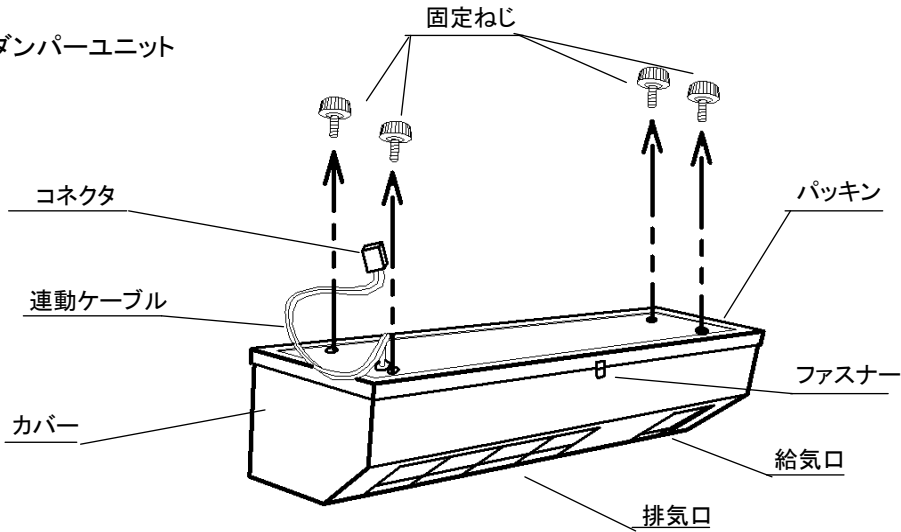
 警告	死亡または重症など重大な事故の発生が想定される内容です。	 注意	けがや物的損害の発生が想定される内容です。
---	------------------------------	---	-----------------------

 警告	 分解禁止	●分解や改造は絶対に行わないでください。 感電や火災の発生、異常動作によるけがの原因となります。
	 禁止	●モーター部などの電気部品は、絶対に水で濡らさないでください。 また、濡れた手で触れないでください。 火災や感電の原因となります。
	 指示に従い 必ず行う	●据付作業は、工事専門店に依頼してください。 ご自分で据付作業をされ不備がありますと、本体落下によるけが、変形、破損、 不動作や感電、火災発生の原因となります。 ●据付作業は、本書に従って正しく行ってください。 本体落下によるけが、変形、破損、不動作や感電、火災発生の原因となります。 ●据付の際は、始めに必ず本体のブレーカーを切ってください。 指や衣服などの巻き込みによるけが、感電の原因となります。

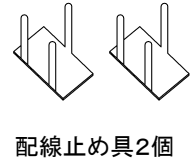
 注意	 指示に従い 必ず行う	<ul style="list-style-type: none"> ●据付作業時ならびに保守作業時は、必ず手袋を着用してください。 製品の端部や、角部などでけがをする恐れがあります。 ●本体を落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。 けが、変形、破損、不動作の原因となります。 ●本体の据付けは確実に行ってください。 落下によるけが、変形、破損、不動作の原因となります。 ●高い位置に据付ける場合、足元に注意し、脚立など安定した台を使用してください。 滑りやすい履物をはいたり、不安定な台に乗っての作業は、転倒や落下による けがの原因となります。 ●機器を長期間運転させないときは、分電盤のブレーカーを切っておいてください。 漏電や火災の原因となるおそれがあります。
---	--	--

2. 各部の名称

●気密ダンパーユニット



●付属品



3. 気密ダンパーの据付方法



警告



指示に従い
必ず行う

据付の際は、始めに必ず本体のブレーカーを切ってください。
指や衣服などの巻き込みによるけが、感電の原因となります。

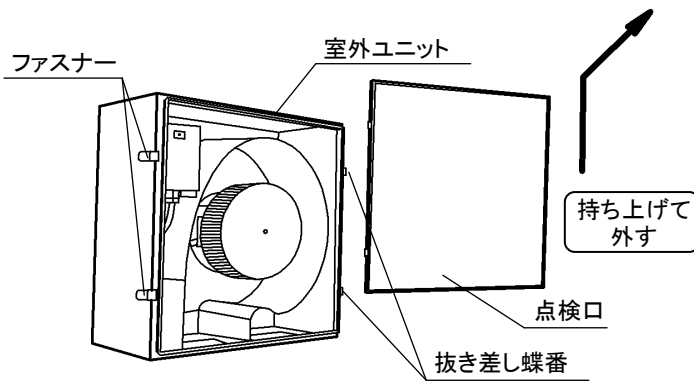


注意



指示に従い
必ず行う

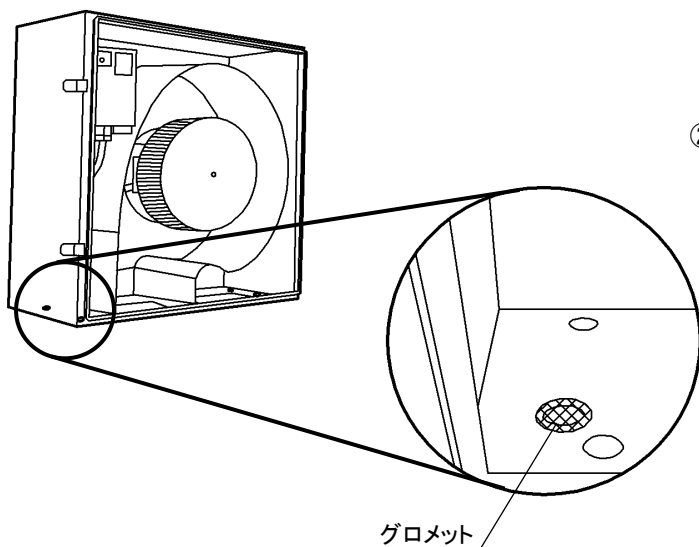
据付作業時ならびに保守作業時は、必ず手袋を着用してください。
製品の端部や、角部などでけがをする恐れがあります。



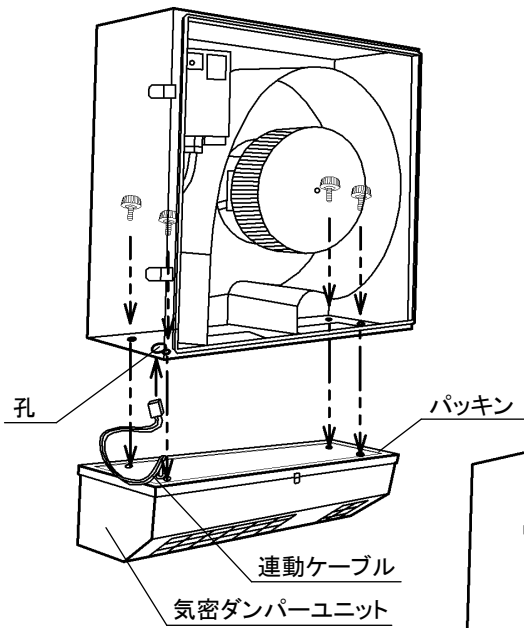
①室外ユニット側面のファスナー(2カ所)を解除して点検口を開き、点検口を持ち上げて本体から取り外してください。

—おねがい—

取り外した点検口は、据付作業の邪魔にならない所に保管して作業してください。



②室外ユニット下面のグロメットを取り外します。



③グロメットを取り外した孔から連動ケーブルを室外ユニット内に引き込みます。

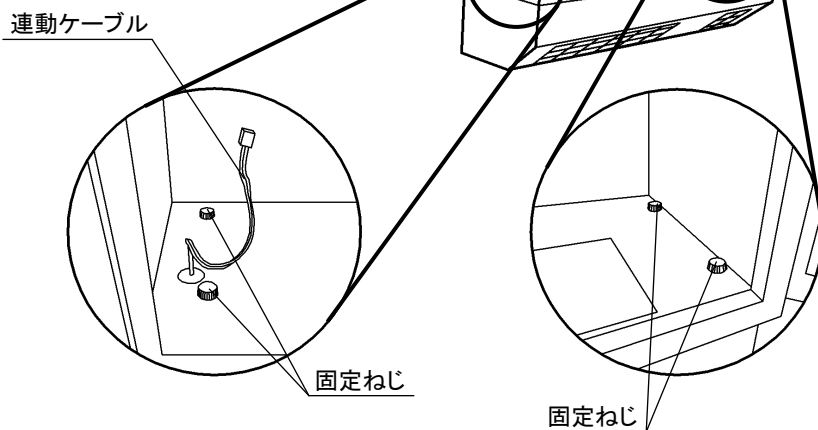
—おねがい—

連動ケーブルを、気密ダンパーユニットと室外ユニットとの間に挟みこまないように注意してください。

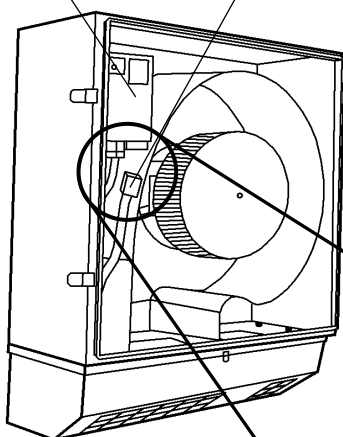
④気密ダンパーユニットのパッキンを室外ユニット下面に押し上げながら固定ねじ(4点)で固定します。

—おねがい—

- ・気密ダンパーユニットが、室外ユニット下面にしっかりと固定(密着)されていることを確認してください。
- ・ケーブルの引き込みや、化粧ねじの取り付け作業がやりにくい場合は、ファンケーシングを取り外して作業してください。(『スリムハイキⅡ施工要領書』P15をご参照ください。)



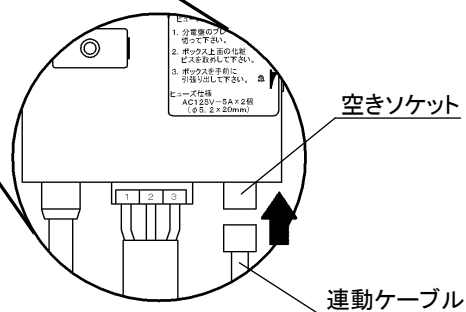
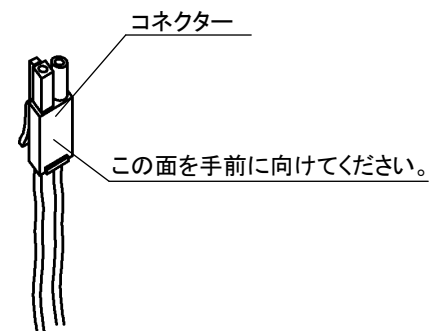
電源ボックス コネクター

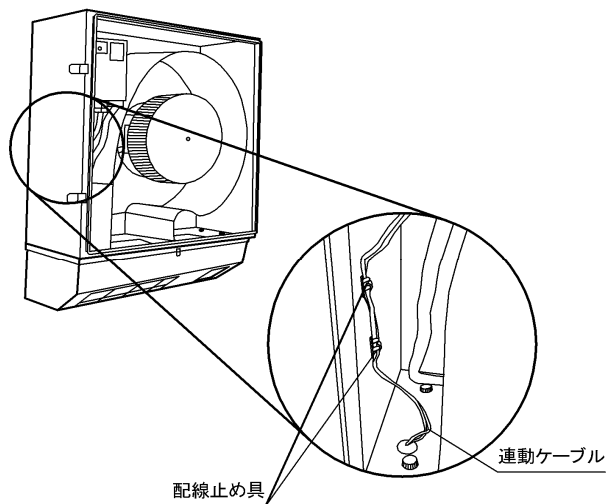


⑤連動ケーブルのコネクターを電源ボックスの空きソケットに差し込みます。

—おねがい—

コネクターは向きを確認して、カチッと音がするまできちんと差し込んでください。

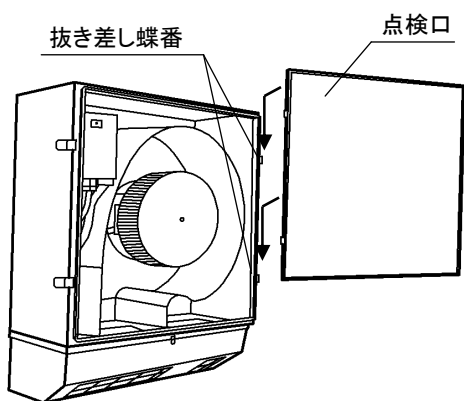




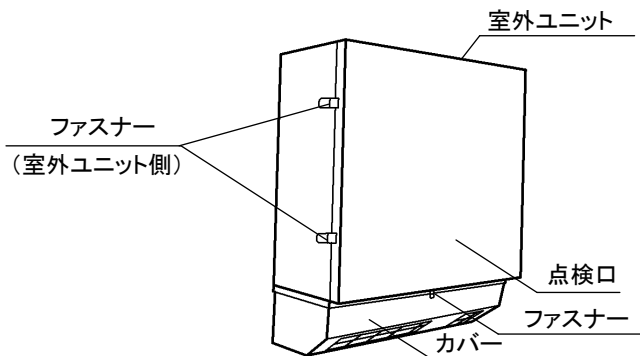
⑥連動ケーブルが遊ばないように配線止め具で2箇所固定してください。

—おねがい—

配線止め具を貼る面に水や油、ほこりがついている場合は、はがれることがありますので、よくふき取ってから貼り付けてください。



⑦取外した室外ユニットの点検口を抜き差し蝶番に差し込み、室外ユニットに取付けます。



⑧点検口を閉じ、室外ユニット側面のファスナー(2カ所)をロックします。

—おねがい—

室外ユニットの点検口の取付けは、確実に行ってください。点検口が正しく閉じられていないと、室外ユニットは運転しません。

4. 試運転

作業後の確認

- 据付作業が完了したら、ブレーカーを入れる前に下のチェック項目に従ってもう一度点検を行ってください。
□の中にチェック印を入れてください。
- 固定ねじの取り付けは確実ですか？（取り付け忘れはありませんか？）
- 連動ケーブルの接続は確実ですか？
- 室外ユニットの点検口はきちんと閉まっていますか？

試運転

- 作業後の確認が完了したら、ブレーカーを入れ、次の確認を行ってください。
□の中にチェック印を入れてください。
- コントロールスイッチを『入』にしたときに、空気がきちんと給気・排気されていることを室内側の給気グリル、屋外側の気密ダンパーユニットの給気口・排気口から確認してください。
(ドアや窓が開いていると給気しないことがありますので、ドアや窓を閉めてから確認してください。)
- 作動中にモーター部から異音が生じていないことを確認してください。

※もしも試運転中に異常が生じた場合、すぐにスリムハイキの電源を切り、連動ケーブルのコネクターを外してください。

■ 据付作業についてのご不明な点は、下記までお問合せください。

- | | |
|------------------------|----------------------|
| □ 東 北 : 022-284-2516 | □ 東 京 : 03-3656-2161 |
| □ 名 古 屋 : 0567-56-5338 | □ 大 阪 : 06-7176-1566 |
| □ 広 島 : 082-503-8650 | □ 九 州 : 092-947-6158 |